

## ■ 2学期、ありがとう！！

12月23日（水）で2学期が終わります。2学期を振り返ってみれば、8月～9月は猛暑の中での学習や部活動の日々でした。新型コロナウイルス感染症対策のため、エアコンを使っても教室の窓やドアを開けたままで授業が行われました。そんな中であっても日々の学習や部活動などの学校生活にしっかり臨んでいた生徒の皆さんの姿が印象的でした。10月には運動会と文化祭が行われました。感動を分かち合う素晴らしい思い出となりました。そして、県新人大会では団体競技4種目優勝など県制覇を果たし、生徒の皆さんの日々の練習の成果や努力、そして健闘が実った2学期でした。

今現在、3年生は進路実現に向けて一生懸命学習に取り組んでいます。また、2年生は第63期生徒会が誕生して、全校のリーダーとして学習・委員会活動・部活動などの取組を頑張っています。1年生も新組織で上級生からたくさんのお話を学びながら、来年度の新1年生を迎える準備に入っています。生徒の皆さんの学校生活の様子を見ていて、日々当たり前のことを当たり前積み重ね、学習や部活動などの学校生活の充実と向上を図っている姿に感心しています。

このことは私が生徒の皆さんに昨年度から言い続けている「志は千里にあり 道は平素にあり」という言葉の意味を、生徒の皆さんが日々の学校生活の中で実現していることとなります。そこで、この言葉の意味を改めて紹介します。「志は千里にあり」とは、「心に決めた夢や希望、目標を成し遂げるには、長い道のり（時間）が必要である」という意味です。また「道は平素にあり」とは、「その夢や希望、目標を成し遂げるためには日々の積み重ねが大切である」という意味です。生徒の皆さんには『夢や希望、目標を高く掲げ、毎日の当たり前の積み重ねを大切にして過ごして欲しい』と思っています。

人間は目標をもつことによって、その目標を実現するために、自分自身を磨き、鍛え、心やからだ、様々な能力を高めることができます。

目標をしっかり意識することによって、「夢はみるもの」から「夢はかなえるもの」へと変わっていきます。そして、その目標を実現させるために、日々当たり前のことを当たり前積み重ねる根気強さを中学校生活で身につけてほしいです。

大事な節目を迎えている今こそ、今一度原点に立ち返って自分自身を見つめたいものです。

## ■ 生徒会執行部、各小学校訪問

12月4日（金）の午後、生徒会執行部14名が徳田小学校、不動小学校、煙山小学校を訪問して新入生体験入学を開催しました。例年は各小学校の6年生が本校に来校して行われている行事です。そして、例年は授業参観、学校施設巡り、生徒会執行部による学校の行事等の説明、1・2年生による合唱や応援歌披露などをして

いましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、本校への来校ではなく、本校から生徒会メンバーが各小学校を巡って、学校説明などを行ってきました。

内容は、校歌を歌って紹介、スライドなどで学校施設、学校生活、部活動などの紹介を行ってきました。

各小学校6年生の児童の皆さんの不安な気持ちを少しでも解消できればと思って実施しました。来年度の新入生の皆さん、入学を楽しみに待っています。

## ■ 健康管理を入念に・・・

昨年度は矢巾町でも秋頃からインフルエンザが流行しており、本校でもなかなか終息しない日が続きました。3年生は、私立高校入試、公立高校推薦入試、そして公立高校一般入試に向けて頑張っています。3年生は進路実現に向けた大切な時期、1・2年生は今年度まとめと来年度準備に向けた大事な時期ですから、インフルエンザ、感染性胃腸炎などの予防、そして新型コロナウイルス感染症対策に充分心がけて生活して欲しいです。そのために冬休み中も毎日の体調管理のために、検温、手洗い、常時マスク着用、咳エチケット、3密を避けることなどに心がけて生活をしてください。3学期も元気に会えることを楽しみにしています。

